

平成20年5月15日

各 位

会社名 ミサワホーム北海道株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 岩淵 宣昌
(コード番号 1761 札証)
問合せ先 執行役員総合企画部長 星加 龍哉
(TEL. 011-822-1111)

平成20年3月期通期業績予想の修正(連結・個別)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等に踏まえ、平成19年11月6日公表の平成20年3月期の通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1.平成20年3月期 通期業績予想の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(1)連結

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	(A)	28,800	330	230	120
今回修正予想	(B)	29,425	257	161	5
増減額	(B)-(A)	625	△ 73	△ 69	△ 115
増減率	(%)	2.17	△ 22.1	△ 30.0	△ 95.8
(ご参考)					
前期(平成19年3月期)実績		28,774	320	281	248

(2)個別

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	(A)	27,800	310	210	90
今回修正予想	(B)	28,252	260	165	5
増減額	(B)-(A)	452	△ 50	△ 45	△ 85
増減率	(%)	1.63	△ 16.1	△ 21.4	△ 94.4
(ご参考)					
前期(平成19年3月期)実績		27,703	323	287	251

2.修正の理由

当期における、北海道経済は、民間の設備投資は増加したものの、公共投資の縮減、雇用情勢の悪化等により景況の改善に足踏み感が広がり、個人消費も依然低迷、総じて厳しい状況で推移いたしました。

住宅業界におきましても、原油・原材料価格の高騰による建築価格の上昇により、住宅取得マインドは低迷し、北海道の新設住宅着工戸数は、前年同期比15.1%減の4万2千戸となりました。

このような状況下、コスト削減や受注拡大に努めましたが、連結および個別ともに、税効果会計に基づく繰延税金資産の再評価による法人税等調整額の計上に伴い、税金費用が増加したことにより、通期の業績予想を修正いたします。

3.平成20年3月期 期末配当予想の修正

	中間期	期末	年間
前回発表予想	—	5円00銭	5円00銭
今回修正予想	—	—	—
(ご参考)			
前期(平成19年3月期)実績	—	5円00銭	5円00銭

4.修正の理由

当社は、利益配分につきましては、安定的な配当の継続を基本に、経営基盤の強化と将来の事業展開に備えるため内部留保の充実を図りつつ、会社の業績に対応した適正な利益還元を行なうことが望ましいと考えております。

当期の配当につきましては、通期業績や財務状況等を総合的に勘案した結果、遺憾ではございますが、無配とさせていただきますことになりました。

今後は、収益・財務体質の向上に役職員一同全力を挙げて取り組み、復配に向けて努力邁進する所存でございます。

(注) 今回の修正値は、発表日現在入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実なる仮定を前提としており、実際の決算とは異なる可能性があります。